



となりぐみ

令和 5 年 6 月発行

創刊号

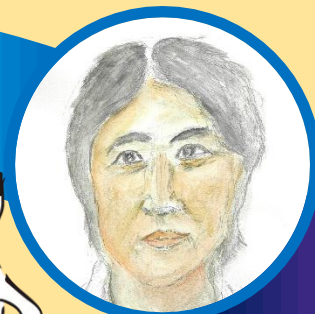
題字(江戸文字)作成：江口勇

リーダー・成田

副リーダー・原島

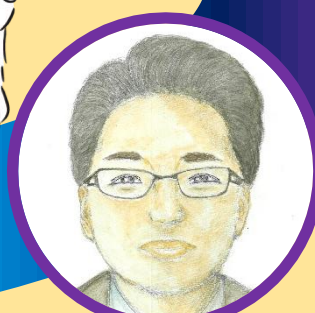
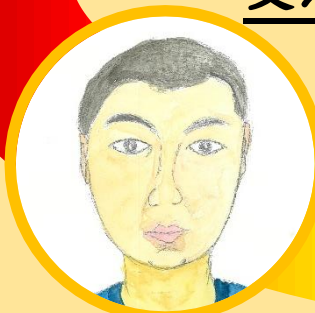
森山

浦井



私たちが

支えあいのまちづくり協議体の メンバーです！



聖カタリナ病院
柏倉

勝どきおとしより相談センター
岡

晴海苑
野村

グローバルケア
古田

似顔絵作成：絵画を楽しむ会

支えあいのまちづくり協議体とは…

「支えあいのまちづくり協議体」は、日頃から高齢者と関わる機会の多い地域住民や福祉関係機関、生活支援コーディネーター(社会福祉協議会の職

員)が参加し、地域で支えあえるまちづくりについて、それぞれの立場で感じている課題や「気づき」等を共有しています。中央区では京橋・日本橋・月島の3地域に設置されています。

月島地域の支えあいまちづくり協議体は…

令和2年度に発足いたしました。民生委員、地域活動の主宰、ケアマネジャー、病院の相談員、葬儀店の店長、おとしより相談センター職員など高齢者に関わる多種多様なメンバーで構成されており、多角的な視点から月島地域の高齢者は「どんなお困りごとを抱えているのか?」といった課題を考え、解決するためには「どんなことができるのか」についてメンバー皆で話し合っています。

話し合いを重ねた結果、月島地域では『デジタルデバインド』(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差)については是正するための取り組みを考えていくこととなりました。



裏面では、私たちが『デジタルデバインド』の是正に向けてどんな活動を行ってきたかをご紹介します

集まれ!スマサポまつりの誕生

スマサポまつりとは、スマートフォンサポートまつりの略称です。スマートフォンをお持ちの方も、そうでない方も、全ての方がスマートフォンの活用に向けてステップアップできることを目的とした催して、参加者に楽しんでもらうためにお祭り形式で行います。

試行的にイベントを行うべく、令和3年11月に晴海ビュータワー在住の高齢者の方にアンケートを実施して、スマホを利用する上で「どんなことに困っているのか」、「どんなことを知りたいのか」を事前に調査しました。その結果、LINEへの関心が高いこと、便利な機能を紹介してほしいといったお声がありました。



令和4年3月にアンケートの結果を踏まえて『スマサポまつり』を晴海ビュータワーにて開催することができました。地域のスマホの知識に長けた方やドコモショップ勝どき店・ソフトバンク晴海トリトンの店員さんのご協力もあり、大盛況のままスマサポまつりを終えることができました。



スマサポまつり
開催地域
募集

スマサポまつりの開催を希望される町会・自治会、中規模・大規模マンションを募集します。あなたの地域やマンションに協議体メンバーやスマホの知識に長けた人材、キャリアショップ店員がお伺いし、スマホに関するお悩みごとに応じます。奮ってご応募ください〜。

〜ご応募には下記の要件を満たす必要があります〜

- ① 月島地域(佃・月島・勝どき・豊海町・晴海)エリア内の町会・自治会、マンションであること
- ② 町会・自治会・マンション内で10名ほどの高齢者のイベント参加が見込まれること
- ③ 集会室やコミュニティルーム、町会事務所など開催場所の用意が可能なこと
- ④ お住まいの高齢者の方から事前にアンケートのご協力がいただけること



〜応募方法〜

下記問合せ先の電話及びメールに、、、をご連絡ください。

〜月島地域の生活支援コーディネーターから一言〜

今回、となりぐみ(本広報紙)の発行にあたり、協議体メンバーはもちろんのこと、江戸文字でロゴを書き添えてくださった勝どきにお住まいの江口勇様、メンバーのイラストを作成していただきました絵画を楽しむ会の皆様、多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました!!

明石

杉田



【問合せ先・発行元】

社会福祉法人

中央区社会福祉協議会 管理部地域ささえあい課 担当:明石・杉田

電話:03-3523-9295 Eメール:sasae@shakyo-chuo-city.jp

